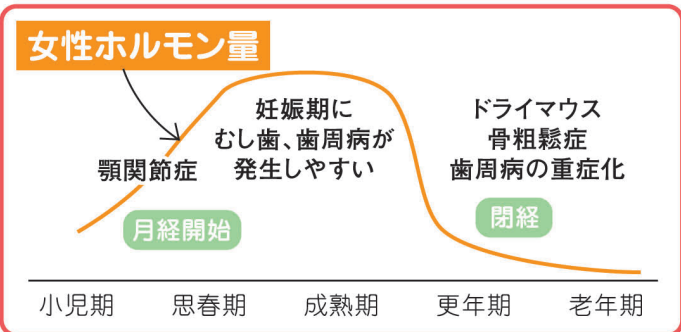


## 女性に多い歯科疾患

歯と口に関わる疾患には、女性と男性とで性差がみられます。歯周病、口腔乾燥症、顎関節症などは女性に多く見られる疾患です。これらの疾患が女性に多い理由は、思春期、妊娠・出産、閉経など生涯にわたって影響を受ける女性ホルモンが深く関わっています。



### 歯周病

思春期、妊娠・出産・更年期など、ホルモンバランスが大きく変化する時期に悪化しやすくなります。歯周病は徐々に進行するので、最初は自覚症状が無くても、30代以降になると症状が現れ、女性の罹患率は大幅に上がります。



### 口腔乾燥症

唾液の量が減って乾いた状態になる“口腔乾燥症”、“ドライマウス”ともいわれます。女性ホルモンが減少してくる40代～50代に多く女性に多い疾患です。原因は…

- ①薬剤の副作用
- ②シェーグレン症候群(自己免疫疾患)
- ③女性ホルモンの減少
- ④唾液腺の疾患
- ⑤口呼吸
- ⑥全身疾患(糖尿病・腎不全など)などがあげられます。



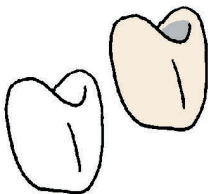
### 顎関節症

顎関節症は、ストレスや生活習慣、歯ぎしりなど、様々な要因が重なって発症すると言われています。また、女性は筋肉の緊張やストレスに対しての感受性が強く痛みにも敏感であること、骨格や靭帯が弱いこと、女性ホルモンの関係なども女性の方が多く発症するという説もあります。



## 歯のQ&A

**Q** 保険適用の差し歯と保険適用外の差し歯はどう違うの?



**A** 保険適用と適用外には見た目以外にも次のような違いがあります。

### 保険適用の場合

(主に日常生活に支障がないように行う治療)

保険が適用されるため費用の負担が少なく済むことが一番のメリット。食べたり喋ったりといった機能性に問題はありますが、差し歯は表面が特殊なプラスチックで内面が金属のため天然歯のような透明感がありません。周囲の歯との色合わせに限界があるため不自然に見えることがあり、年月の経過とともに変色してきます。



### 保険適用外の場合

(見た目の美しさ、耐久性、体へのやさしさも考慮した治療)

セラミックなどの材料を使い、天然の歯に近い白い歯を作ることができるため周囲の歯との違和感がなく、口元がキレイにみえます。

セラミックのタイプには、噛む力が強い方、金属アレルギーが心配な方など患者様の状況を考慮し、内面に金属を使用するものや全てセラミックのものなど様々なタイプがあります。



**耐久性**  
長もちする



**審美性**  
見た目の美しさ



**生体親和性**  
体へのやさしさ

作る人も違います.....

セラミックを使用した差し歯や被せ物は、歯科技工士なら誰でも作れるわけではありません。経験豊富で熟練した技術をもつ歯科技工士が、手間と時間をかけて作るので、天然の歯のように美しく精密なものができるのです。

